2026 国際教養科 NEWS １０月

「本物の英語」を身につけるには？

信州大学出前講座を開催（10/13・10/27）

信州大学より講師として酒井英樹先生をお招きし、出前講座を開催しました。酒井先生は、第二言語習得論をご専門に研究されている英語教育のスペシャリストです。10 月 13 日は２年生を対象に、『第二言語習得論 － 英語はどのように学ばれるか』と題し、言葉を身につけるメカニズムについて分かりやすくご講義いただきました。日頃から英語学習に対して非常に熱心に取り組んでいる国際教養科の生徒たちですが、今回の講座を通じて「どのように学べば『使える英語・本物の英語』が身につくのか」という本質的な問いに向き合う貴重な時間となりました。

10 月 27 日は１年生を対象に「英語のコミュニケーション活動」を演題とした特別講義が行われました。講義の中では、生徒たちがペアになり “Find what you have in common.”（パートナーとの共通点を見つけよう） というタスクに挑戦しました。 お互いの好きなことや意外な共通点を探しながら、英語でのやり取りに積極的に取り組む姿が見られました。酒井先生からは、コミュニケーション・タスクをうまく行うためには「ゴールが明確」「英語を駆使」「成果物がある」「現実世界との関係がある」という４つの条件が必要であるという貴重なアドバイスをいただきました。

専門的な理論をベースにしながらも、今日からの学習にすぐ活かせるヒントがたくさん詰まった講義に、生徒たちは真剣な眼差しで耳を傾けていました。今回の学びを大きな刺激として、これからの英語学習がさらに実り多いものになることを期待しています。





善光寺英語ガイド研修

来年１月、台湾の高校生が修学旅行で本校を訪れます。国際教養科では、おもてなしの一環として「生徒による英語での善光寺案内 project」を始動しました。

その事前準備として、10 月 20 日に、全国通訳案内士の増尾はる子さんと中島信子さんをお招きし、実践的なガイド研修を行いました。国際教養科１年の生徒たちは２グループに分かれ、善光寺の歴史や伝統的な建造物の特徴についての英語解説を体感。プロの表現や伝え方の工夫を学ぼうと、手元のノートにメモを取りながら真剣に参加していました。

地域が誇る善光寺の歴史を、自らの英語で海外の同世代へ伝える。本日の研修で掴んだ手応えと学びを生かし、１月の本番では心の通い合う素敵な国際交流となることを期待しています。





長野県中国語スピーチコンテスト　1位・2位



１位　原田美結さん(左)
２位　泰間あかりさん(右)

10 月 18 日（日）に開催された「第 44 回長野県中国語スピーチコンテスト」の朗読部門において、本校国際教養科２年生の生徒が見事、第１位および第２位に輝く素晴らしい成績を収めました。審査員の方から、特に「発音が非常に美しく、抑揚が効いていて引き込まれた」と高い講評をいただきました。

生徒たちは本番に向けて、日頃の授業での学びに加え、中国語講師の張先生による熱心な個別指導・補習を何度も受け、発音や抑揚の細部まで磨きをかけてきました。先生の情熱あふれる手厚いご指導と、それに応えてあきらめずに努力を重ねた生徒たちの姿勢が、今回の快挙へとつながりました。